

すがわら進 News

川崎市議員

小さな声を 大きな力に

すがわら進ニュース 第131号

発行者：公明党川崎市議団
発行人：菅原進
住所：川崎市多摩区登戸3095
電話：044-933-2043
印刷所：光明印刷
(幸区塚越4-345-105)



ずっと住み続けたい「多摩区」を創りたい。
それが「すがわら進」の夢です。

平成22年第4回定例会 決算審査特別委員会

（すがわら進議員は2項目の質問を行い、1項目は事前協議となりました。）
代表質問では2項目を担当しました。

質問

- 1.財政：歳出削減と平成23年度予算
- 2.防災対策：市の総合防災計画と多摩区の地域防災計画を

事前協議

- 1.病院事業
聖マリアンナ医科大学病院へ8億8千万円を交付

代表質問

- 1.中小企業対策:融資、市内企業への優先発注、経営相談
- 2.工業用水の利用:西オーストラリアへ工業用水を売却

1 財政について

平成21年度の決算内容を、税収不足が予想される平成23年度予算編成に活かしたうえで、①一律ではなく福祉など必要なものはプラスにし、事業内容によっては、大幅な削減などメリハリのある編成を②今後策定される行財政改革プランでは徹底した歳出削減を、の2点を求めました。

2 防災対策について

川崎市の総合防災計画は、全体では3年に1回修正しているが昨今の従来にない自然災害が多発していることを踏まえて全体の修正を1年毎に行うことを求めました。多摩区の地域防災計画は19年に策定したままなので、ここでも1年毎の修正を求めました。その結果、川崎

市全編の修正を行うこととなり、各行政7区でも修正を行うこととなりました。

また、以前より要望していた生田ゴルフ場のクラブハウスの建替えに伴う防災拠点機能の計画内容も明確となりました。

3 病院事業について

このテーマは時間の関係で質問ができませんでした。が、事前の協議で多くのことを明確にしました。

赤字が拡大している市立多摩病院の健全運営のため、委託している聖マリアンナ医科大学に、市から政策交付金として平成21年度は8億8645万8千円が支払われました。それを受けて、多摩病院に対して経営改善を図るよう指示することを、病院事業管理者に求めました。

速報!

北部地域の総合病院

平成24年春開設!!

すがわら進議員が代表しあいさつ!!

医療法人社団 三成会
新百合ヶ丘総合病院新築工事の起工式が平成22年9月2日に行われました。



北部地域の市民の皆様が待望していた総合病院の建築工事が着工となり、平成22年9月2日に起工式が執り行われました。この病院の誘致に尽力した、すがわら進議員が、代表してあいさつ。5年前より川崎市北部への進出を要請した詳細な経過を踏まえ、北部地域の医療の充実と最先端の医療をトータルで担う世界水準の総合病院を目指していることを紹介しました。

その際、羽田国際空港と隣接する神奈川口の殿町に予定されている、ライフサイエンス高度医療の研究所と連携をはかり、世界レベルの医療機関になることを期待すると望みました。

また、日本初の医学系大学院大学をこの地域に開設する構想もあり、将来は、日本だけでなく、世界から多くの医師などが研究に来院する可能性があります。

同病院は、救急医療、小児救急、産婦人科などを備えた総合病院として地域医療との連携をはかり、北部の広域的な医療を担う医療機関として期待されています。予定通り、平成24年春の開設をめざし、すがわら進議員は全力を挙げていく決意です。



世界的外科医の福島孝徳先生も同病院に所属しています



新百合ヶ丘病院の渡邊一夫理事長が喜びのあいさつ



起工式であいさつする「すがわら進」議員

市議会議員 すがわら進 暮らしの110番

市民相談 お気軽に!

控え室 電話：044-200-3361

自宅 電話：044-933-2043

FAX：044-933-1950

すがわら進のホームページをぜひご活用ください!

URL <http://www.susumu-news.com>

E-mail susumusumu@muf.biglobe.ne.jp

すがわら進のプロフィール

●公明党神奈川本部総合選挙対策局長 ●公明党川崎第3総支部長 ●多摩第2支部長 ●中央大学学生会川崎支部長 ●元協議員 ●学校法人中央大学元商議員 ●海城学園海原会常任幹事 ●昭和22年、秋田県生まれ。 ●海城学園中等部、高等部、中央大学法学部卒。 ●デンマークの船会社マースクラインに18年間勤務。 ●その後、衆議院議員政策担当秘書を経て、平成11年(1999)に川崎市議会議員に初当選。以来3期連続当選。